

# 防コミの歩き方

BOSAI  
KOBEMIRAI

## 東南海・南海地震に備えて

3月11日14時46分三陸沖にてM9.0の巨大地震が発生しました。この地震では、津波による大きな人的・物的被害、原子力発電所からの放射性物質が漏れ出すなど、これまでに類をみない災害となりました。

### ●東南海・南海地震の災害想定

東南海地震は30年以内に70%、南海地震で60%の確率で発生するといわれていて、この神戸でも東南海・南海地震による津波の襲来が危惧されています。

現在の被害想定では、この地震による津波が、地震発生から約80～110分後に到達し、満潮時に最大津波が重なった場合には、潮位が最高で海拔2.5m程度になるといわれていて、市街地沿岸では津波による浸水の恐れがあります。

最近では、東海や日向灘を含めた4連動の懸念もでてきていて、政府の中央防災会議は被害想定の見直しを図るとのことです。

イザという時のために、各家庭や地域でも地震や津波に備えていく必要があります。

### ●素早い避難にむけて

東日本大震災の教訓の一つは、津波に対しては、何より避難が重要だということです。強い揺れやゆっくりした大きな揺れを感じたときは、身の安全を確保し、テレビやラジオなどの防災情報を入手しましょう。また、神戸市の防災行政無線からも津波警報や注意報が発令された場合などに防災情報が流れます。そのほか、携帯電話で機種によっては緊急地震速報を受信できるものもあります。

このように、さまざまなところから情報を入手できますので、強い揺れを感じるなどした場合は、積極的に防災情報を入手し、避難に役立ててください。

### ●地域での防災訓練

防災福祉コミュニティにより、各地で防災訓練が実施されています。地域の訓練の予定については、神戸市のホームページ (<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/fire/event/kunrenzyouhou.html>) に掲載されていますので、参照の上参加してください。

また、地域によっては、津波の避難訓練や、災害時に自力で避難することが出来ない災害時要援護者の避難支援に取り組んでいるところもあります。

大規模な災害発生時には阪神・淡路大震災の教訓である「自助」「共助」の精神で対応することが必要です。このように津波や地震の備えを、皆さんの地域やご家庭で話し合われてはいかがでしょうか。

(地域防災支援係 秋田稔之)

